

# あどぼけいと

HSK

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号555号  
発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会  
発行日=2018年6月10日(毎月10日発行)  
編集者=我妻 武  
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
〒063-0812  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323  
ホームページ <http://nplife.net/>

2018年6月号

No.208 [June] 定価 100円

あどぼけいと [advocate] =すべての人がもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。

## 特集

# まちかど荘 避難訓練への道

P4~5



NPOライフ  
2017年度事業報告

# 改めて分配金問題をみんなで考えよう

専務理事 石澤 利巳

昨年度、給付金目当ての事業者(悪しきA型事業所)に対する対策の一環として、厚労省はA型事業の指定基準見直しを打ち出した。その内容は事業売上の収益から障害者の給料を払わなければならないというもの。しかし全国のA型事業所の7割はその基準を満たしていない実態も明らかになった。結果、真面目に取り組んでいる事業所までが閉鎖に追い込まれ、障害者の解雇問題が浮上した。私たちとしても、新事業の開拓を含め収益を伸ばす努力を進めつつ、厚労省の一方的な基準改定に異議申し立てしてきた。

ライフの「きばりや」もその7割の中に入っている。かといって、障害者の給料を削減することは出来ない。なんとか法人の努力によって「きばりや」や協働事業の「もじや」の分配金(給料)を保証しているのが実態である。しかし、B型で働く障害者の分配金はいっこうに改善できていない。この課題はライフに集うすべての人の共通の課題であることを改めて強調したい。

## 1) 就労支援事業

就労支援事業売上は前年度の98%となり、市立病院の清掃業務委託が無くなったことが響いている。雇用型の事業は若干の売り上げ増となっている部分もあるが、財政的には赤字であり今後もさらに収支の改善が必要である。同時に、B型事業所の障害者分配金は大幅に下がった結果となった。訓練等給付金は約300万円の減となっている。

## 2) 生活介護事業

「こころや」は、場所の広さの問題もあり、日中活動支援の内容に課題を残している。また、スタッフのスキルアップも求められており、自閉や発達障害への理解等、今後の研修等の企画を増やしていく必要がある。

## 3) 訪問介護事業

介護スタッフの定着率が悪く、契約ヘルパーの登録も半減し、十分な訪問介護支援が出来る状態になっていない。ヘルパー職の処遇改善も試みているが、応募は皆無にちかい。結果として、訪問回数や利用者を減らさざるを得ない状態である。引き続き、法人内の相互協力で支援を必要とする人たちの暮らしを支えていく体制が必要。

## 4) 指定相談事業

担当者の努力によって、「相談室らいふ」に対する相談件数は増えている。一方、相談が複雑・困難な内容となっている。今後、相談員の後継者育成も課題である。

## 5) 委託事業

発寒工房・リユースプラザ事業、アウトソーシングセンター元気ジョブ事業は、各日の運営されており札幌市からも高い評価を得ている。

## 6) 組織改革

事務局体制を強化し、後継者育成にむけた取り組みを開始。「共働・共生」理念の具体会に向けた取り組みが徐々に開始されている。

## 7) 財政の安定化

財政状況としては、今年度も黒字決算となった。スタッフの処遇改善も実行しており、メンバーにも年度末手当を支給することが出来た。昨年に引き続きB型工賃が下降状態である。一方、委託事業に関しては、入札額の算定額や業務内容の見直し提案等の効果があり若干の上乗せとなった。

## 8) 共同住居建設事業

土地探しや不動産業者、設計士などとの相談を進めているが、銀行の融資条件が決まらず、銀行の判断まちとなっている。予定する土地候補は地下鉄発寒南駅徒歩15分圏内で検討中である。

## 2017年度決算報告・会計監査報告

特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センターライフ

### 貸借対照表

2018年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	66,329,707	買掛金	216,163
売掛金	11,495,474	未払金	4,864,646
未収金	29,180,507	未払費用	188,034
商品・製品・原材料	1,074,220	人件費等未払金	20,815,861
立替金	1,283,911	預り金	4,194,525
前払費用	1,201,296	前受金	368,549
仮払金	4,246	短期借入金	0
前払保険料	1,112,364	未払法人税等	3,966,900
流動資産合計	111,681,725	未払消費税	1,558,800
		流動負債合計	36,173,478
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1)有形固定資産		長期借入金	16,577,000
建物	708,906	固定負債合計	16,577,000
建物附属設備	1,062,906	負債合計	52,750,478
構築物	1		
工具器具備品	275,759		
機械装置	1,056,388		
車両運搬具	3		
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	49,770		
(3)投資その他の資産		III 正味財産の部	
敷金	1,885,920	前期繰越正味財産額	48,843,114
出資金	42,000	当期正味財産増加額	15,207,996
差入保証金	18,500	正味財産合計	64,051,110
預託金	19,710		
長期前払費用	0		
固定資産合計	5,119,863		
資産合計	116,801,588	負債及び正味財産合計	116,801,588

特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センターライフ

### 活動計算書

2017年 4月 1日 ~ 2018年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費	460,700	460,700
2. 受取寄付金	1,170,838	1,170,838
3. 受取助成金等	21,220,417	21,220,417
補助金収益	14,890,000	
助成金収益	6,330,417	
4. 事業収益	269,484,773	269,484,773
介護給付金収益	63,109,104	
訓練等給付金収益	72,192,980	
計画相談給付金収益	561,882	
本部事業収益	2,430,682	
就労支援事業収益	69,124,465	
委託事業収益	62,065,660	
5. その他収益	1,155,606	1,155,606
受取利息	353	
受取手数料	259,200	
受取配当金	319	
受取保険料	16,451	
雑収益	512,083	
車両貸出負担金収益	367,200	
経常収益計	293,492,334	293,492,334
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費	111,266,410	111,266,410
役員報酬	2,940,000	
給料手当	93,918,992	
法定福利費	13,728,892	
福利厚生費	678,526	
(2)就労支援(直接)事業費	80,632,413	80,632,413
売上原価	12,966,451	
工賃及び賃金	42,265,983	
業務委託費・外注費	17,273,222	
その他事業費	8,126,757	
(3)その他経費	67,888,368	67,888,368
地代家賃	12,533,190	
減価償却費	1,013,258	
その他経費	54,341,920	
事業費計	259,787,191	259,787,191
2. 管理費		
(1)人件費	10,088,279	10,088,279
役員報酬	4,124,880	
給料手当	4,646,000	
法定福利費	897,188	
福利厚生費	420,211	
(2)その他経費	8,445,591	8,445,591
地代家賃	844,040	
減価償却費	171,680	
その他経費	7,429,871	
管理費計	18,533,870	18,533,870
経常費用計	278,321,061	278,321,061
当期経常増減額	15,171,273	15,171,273
III 経常外収益		
過年度修正益	36,723	36,723
経常外収益計	36,723	36,723
IV 経常外費用		
固定資産除却損	0	0
過年度修正損	0	0
経常外費用計	0	0
当期正味財産増減額	15,207,996	15,207,996
前期繰越正味財産額	48,843,114	48,843,114
次期繰越正味財産額	64,051,110	64,051,110

※ 今年度はその他の事業を実施していません

### 監査報告書

特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センターライフ

- 1 平成29年度 事業報告書
- 2 平成29年度 財務目録
- 3 平成29年度 貸借対照表
- 4 平成29年度 活動計算書

上記の書類を監査した結果、いずれも正確にして適当であることを認めます。

平成29年5月23日

監事 山本 信 隆  
監事 佐藤 隆



# まちかど荘 避難訓練への



まちかど荘住人 西田 大作

## 1. 共に生きる場

住人同士の会話を聞いてわかった事なのだが、今年の四月でまちかど荘にみんなで住みはじめて7年目になるのだそう。長いようで短いあっという間な6年が過ぎた。振り返れば思い出は尽きないが、住みはじめてみると、てんでバラバラな人間たちが、本当にみんなひとつ屋根の下、家族のような存在になった。良くも悪くも「まちかど家族」とでもいえばいいのか、ライフの中でも個性的な一つの共同体みたいなものになった。

人が生きていく中で、「働く場」というのもとても大事なことだが、働き、疲れて、帰り、一日を締めくくる場所、自分の「家」という存在もとても大事であり、そこにともに住む存在を含めて、人を構築する大切な生きる「場」であるように思う。僕たちのこの生きる場は、障害のあるものもない者も共に生きる場だ。地域の中で制度を使わない住人主体の共同住居。責任は自分たちにあり、住居内でのトラブルももちろん自分たちで解決する。相模原の事件以来、住人のずさんな戸締りもきっちりするようになった。自分たちの身も出来る限り自分で守る。



## 2. 他人事ではすまされない

そんな中、札幌の共同住居の火事のニュースが飛び込んできた。生活困窮者が共同生活をしていたライフとも縁のある場所だ。ニュースでもいろいろな憶測が飛び交っていたが、もちろんこの「場」も大切な生きる場であったことは間違いない事だ。まちかど荘と同じで、元旅館だったという。相模原の事件の時もそうであったが、他人ごとではすまされない気持ちになった。この事件を無駄にしないように僕たちは避難訓練を実施した。

## 3. はじめての防災体験

ライフの3委員会のうちの一つの、暮らし委員会の力を借りて時間をかけて計画をたてた。まずは、白石にある市民防災センターに住人を含め出向き、火災体験、地震体験、消火器の使い方など、実際に経験してみると解ったことだが、いざ煙に巻きこまると住み慣れた家もまるで暗闇の中の迷路ようになる。これはひとたまりもないし、パニックになるであろう。単純なことだが煙を吸い込まないように口にタオルなどを当てることも大切だと解った。火事の死因の多くは一酸化炭素中毒であると言う。とても実りある体験になった。



### 4. つながる責任感

さてこれらの準備期間をへて、いよいよ避難訓練の当日である。あいにくの雨であったがきちんと外まで避難をする。一回目の訓練では、皆ばらばらな動きで無駄が多く口にタオルを当てるのも忘れていた。しまいには、キッチリと帽子をかぶって避難する人までいる始末だ。随所に配置にしていた暮らし委員会からのアドバイスを受けて、二回目の訓練。今度は、住人同士、介助が必要なものは助け合い避難し、みんな低い姿勢で口にタオルも当てている、避難タイムも格段にあがった。大成功だ。どこまでこの訓練が役に立つのかは解らないが、自分たちの身は自分で守るという責任感につながったように感じる。ライフの事業所の中でも避難訓練の実施には取り組むべきだ。暮らし委員会では、市民防災センターツアーも定期的に企画するので、ぜひ参加していただきたい。



# 優生保護法被害者弁護団北海道弁護団へのカンパ要請

障害者差別、人権無視の旧優生保護法による強制不妊手術の実態が徐々に明るみになってきました。同時に、被害者救済に向け全国各地で裁判が始まっています。この北海道においても、「優生保護法被害者北海道弁護団」(団長西村武彦弁護士)が結成され活動が開始されています。ライフとしても、西村弁護士の決意に応え全力でこの裁判を支援して行きたいと思えます。皆さんの弁護団へのカンパをここに要請します。(文:石澤)

## 優生保護法被害者弁護団共同代表の決意

弁護士 西村 武彦

仙台のNさんと共同代表になった西村です。自己紹介と決意表明をします。

1978年、静岡大学(私学を中退して、静大に21歳と10カ月で入学しました。世間でいう3浪と同じです。)

1979年(養護学校義務化の年)秋から、静岡で青い芝で活動する沢井さんの介助者になり、介助を学び、障害者の地域生活の思想(共生)・障害者論・差別論・教育論を学び始めました(北村小夜さん、山田真医師、石川憲彦医師らに学びました。全障連です。)。大学に、障害者介助グループ「虹の会」を立ち上げました。複数の脳性麻痺の仲間の介助を始めました。学生寮のちかくに、静岡自立生活センターもあり、静岡市内は、障害者の自立運動が精力的でした。

1980年代から、市議にも障害者の仲間を送り込みました。野崎さんや、渡辺なおまさんという筋ジムの仲間です。

1981年頃沢井さんが結婚し、第1子を儲け、25歳の私が中心で子育てに関与しました。保健婦は西村に育児・入浴・栄養を指導しました(大学で何をしてたんでしょうね?)

### 【優生保護に関係する出来事】

1983年頃、脳性麻痺の夫婦の沢井さんに2人目の妊娠が判明した際、多くの支援者仲間は、「二人

目は無理だよ」、「おろそう」という議論をしているとき、私は社会人の先輩の議論を傍観していました(夫婦とも脳性麻痺です。一種一級で、支援者がいないと日常生活もできません。そういう夫婦です。赤ん坊の抱っこもできません。)

1人目の赤ん坊の育児を中心に担っていて、学校現場で働きながら、大學に通っていた私もアップアップだったのです。このころ、司法試験の勉強を考えており、2人目の育児は遠慮したいと考えていました。同期入学の仲間が当時すでに4人ほど司法試験に合格していたので、29歳の私も1985年10月、辰巳小教室という司法試験予備校の選抜クラスに合格し、逃げるように上京しました。

他の介助者・支援者も、皆さん尊敬に値する、かなりのメンバーで、共生について真剣に考えている、スタンスのある人ばかりですが、二人目の出産にみなさん消極的でした。そして、沢井さんのつまは墮胎をしました。私が主導したわけではありませんが、反対もしていません。

沢井さんの墮胎が、優生保護法のどの条文に該当するかは、当時考えたことはありません(健常者の育児の都合が本当の理由でしょう。)

なお、沢井博さんは頭脳明晰な人です。脳性麻痺で肢体はとても不自由ですが、頭は私より優秀な人です。第1子は、今は屋久島で山岳ガイドをしています(複数の外国語もしゃべれます。)

【どう向き合うべきだったのか】

私は、時代の制約(1970年、1980年代、福祉なんかありませんでした。入所施設・コロニーがパラダイスと宣伝されていた時期です。地域で生きる、子どもを作るといのは、それこそ、闘いでした)だったとは言いたくはありません。言いたくはありませんが、じゃどうあるべきだったのかと言われると、何もいえるものはありません。墮胎に消極的に加担したのは事実ですから。

必死で静岡大学・常葉女子大学・4つの看護学生を組織し、1人目の赤ん坊強君を数10人の学生・看護学生・市民でささえたのは事実ですし、その育児の中心に私がいたのですが、2人目の墮胎のとき、社会人の信頼できる先輩のだけ1人も優生保護法を口にしなかったと思います。障害者問題をかなり精力的に学んでいたの、優生保護法を学んでいたはず(大杉栄訳のダーウインの「種の起源」はつい最近まで家にあったので、読んでいたはず)が、頭の中から、きれいに消えています。

1993年11月に司法試験合格です。1996年4月から弁護士です。48期です。修習中に、当時存在していた障害者弁護団の箱根合宿に参加、故副島弁護士に鍛えられました。



【決意】

そんな自分の過去と向き合いながら、優生保護法被害者弁護団の共同代表、旭川・釧路・札幌・函館の4つの弁護士会に足場のある北海道弁護団の団長として、ベストを尽くしたいと思います。

ダーウインの研究を人間社会にあてはめた際の恐怖に無関心な自分たちがいる、と言いたいのです。

確かに、法は正義を実現することもあります。しかし、犯罪行為に根拠を与えることもあるのです。

私は無知のままではいけないと思います。

多くの弁護士がこの訴訟やその運動に参加することを常に求めたいとおもいます。

今は、障害のある仲間の声に向き合うぞという覚悟だけです。

みなさん、よろしくお願いします。



左から2人目が西村弁護士

西村 武彦

- ・ルピナス法律事務所 札幌弁護士会所属弁護士
- ・司法ソーシャルワーカー
- ・NPO法人ふくろう後見センター 理事長
- ・北海道障害者人権センター 事務局長

住所 札幌市中央区北1条西10丁目  
原田ビル303号

連絡先 【TEL】 011-251-0377  
【FAX】 011-200-0181

～ご賛同の方は、下記へ募金をお振込いただくと幸いです。～

優生保護法対策弁護団 事務局長 西村武彦

支援金 振込先	口座名	優生保護法対策弁護団 事務局長 西村武彦		
	銀行名	北洋銀行 札幌西支店(店番304)	口座番号	普通 5395750

# ライフだョ! 全員集合

ライフ  
事業所情報  
掲示板

## 📖 繭結のヘルパー📖 情報 身体介助のコツ 大西 和也

今日のプチ情報は身体介助のコツ!ポイントとしては自身の身体と利用者さんの身体をぴったりとくっつけることです。

人によっては気持ち悪がられますがそこは仕方ないです。腕の力だけで抱え上げようとするとすぐ痛めてしまいます。介護に関わらず重い物を持ち上げる時も意外と役立つので使ってみてください。

あとはコルセットをして腰や背中を固定するのも予防になります。あくまで身体介助でのことなので、入浴時に頭を洗ったり身体を洗ったりする時にはくっつかないようにしてくださいね。これからもこの仕事を続けていけるように頑張りたいと思います!

## ABLE ART KOKOROYA

ころやのアート活動の中から生まれた作品



松アート作「未来の虹」



### 1周年記念「3個で999円セール」継続開催中! たねつつの「カシューナッツ」…… [65g] 380円

第3世界のフェアトレードのナッツは、産地カンボジアでは大事な仕事でもあり、添加物や保存料、農薬などを使わず、素材本来の味を安心して楽しめます。亜鉛や鉄、ビタミンB1など健康に欠かせない栄養素が多く、特に亜鉛は骨粗しょう症の予防になるそうです。脂肪分の60%はコレステロールの排出や生活習慣病予防の効果期待されるオレイン酸。1日10粒!かんたん健康習慣をあなたも始めませんか?



----- ひだまりレシピ -----

### 新じゃがとアスパラの マスタードマヨ炒め

新じゃがをアスパラと合わせた手軽で美味しい料理。お弁当にもぴったりです

材料  
(4人分)

- |                        |               |              |
|------------------------|---------------|--------------|
| 新じゃが …… 4~5個           | ソーセージ …… 4~5本 | 粒マスタード …… 適量 |
| たまねぎ …… 1/2~1個         | 塩 …… 適量       | マヨネーズ …… 適量  |
| アスパラ …… 2~4本           | コショウ …… 適量    |              |
| (お好みで)おろしニンニク …… 2~3cm |               |              |

#### 作り方

- ①新じゃがを一口大に切って、くっつかないように少し離して置き、レンジで2~3分温める。
- ②アスパラとたまねぎとソーセージを食べやすい大きさに切る。
- ③温め終わったじゃがいもとたまねぎ、ソーセージを炒める。
- ④火が通ったら、アスパラを加えて色が鮮やかになるまで炒める。
- ⑤塩 胡椒 粒マスタード マヨネーズを入れて炒めて完成。

(ここで好みで、おろしニンニクを少し入れてもおいしいです)

#### 【ワンポイント】

マヨネーズは入れすぎるとべちゃべちゃしてしまうので様子を見て入れてください。味濃い目がお好きな方は醤油をひと回ししてもおいしいです。



長崎島原名産

蔵田本格手延べ

# 島原手延そうめん

## ひやむぎ

大人気

①

全粒粉入り  
手延べそうめん 島原小町  
化粧箱・1000g詰(50g×20束)  
標準小売価格  
1箱 ~~3,564円~~ → **2,400円**

麦皮・胚乳・胚芽、  
小麦まるごと挽いた粉を  
使った手延べそうめんです

「細さ」

「舌ざわり」

「こし」

伝統の味わいを  
心ゆくまで  
お楽しみください。

②

そうめん 夏ごころ  
化粧箱・1800g詰(50g×36束)  
標準小売価格  
1箱 ~~4,320円~~ → **2,900円**

③

ひやむぎ 麦作  
化粧箱・1500g詰(150g×10束)  
標準小売価格  
1箱 ~~3,780円~~ → **2,600円**

④

うどん・そば 麺のしらべ  
化粧箱・1560g詰(130g×12束)  
手延べうどん(丸)130g×3束  
手延べうどん(平)130g×3束  
そば130g×6束  
標準小売価格  
1箱 ~~4,368円~~ → **3,050円**

⑤

手延べうどん  
島原のれん **新商品**  
化粧箱・1560g詰(130g×12束)  
手延べうどん(丸)130g×6束  
手延べうどん(平)130g×6束  
標準小売価格  
1箱 ~~4,320円~~ → **2,950円**

製造元  
島原手延素麺協同組合

発売元  
NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ  
共働サービス たねや  
〒063-0804  
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1階  
TEL×613-0611 FAX 644-0088

島原の手延べそうめんは、全国の生産量の約三割を占め、現在では、全国のデパートで夏の売れ筋商品として、発売されております。  
私共の商品は、三六〇年に及ぶ島原の手づくり技術の粋をつくしたものでございます。  
食すれば口の中で舞うがごとく、のど元を流れ、舌ざわり、こし、のどを通り、どれをとりにしても、ご満足頂けるものと存じます。  
又、味付け、調理法とも工夫次第で色々なおいしさが発見できます。  
暑い夏、島原の手延べそうめんを食べ、すっきりさわやかなひと時をお過ごし下さい。  
長い伝統と独特の技術で製造された島原手延べそうめんは、ご家庭で、また、ご贈答品としては最適と存じます。

### 《おいしくいただく方》

手延べそうめんひやむぎ

多めの沸騰したお湯にめんをパラパラと入れ、軽くかきまぜます。

お好みのゆで加減を確かめてザルに上げてよく水洗いして下さい。

尚、ゆで上がり後はなるべく早く目にお召し上がり下さい。

●そうめん

ゆで時間は2分程が標準です。

●ひやむぎ

ゆで時間は4分程が標準です。火を止め、3分程むらします。

●全粒粉そうめん

ゆで時間は5分程が標準です。

手延べうどんそば

釜揚げの場合はそのまま、冷やして食べる場合はよく水洗いして下さい。

尚、ゆで上がり後はなるべく早く目にお召し上がり下さい。

●手延べうどん(丸タイプ)

ゆで時間8分程むらし時間4分程

●手延べうどん(平タイプ)

ゆで時間5分程むらし時間2分程

●そば

ゆで時間5分程が標準です。

## 商品注文書

No.

お支払方法をお選び下さい(番号を○で囲んで下さい)

1. 現金 (代引はお取扱いしておりません)
2. 銀行振込 / 北洋銀行 琴似中央支店 (普)口座番号: 4616684  
 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
 共働サービス たねや 理事長 我妻 武  
 (振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

品名	値段	個数	金額	備考
① 島原小町	2,400円	個	円	
② 夏ごころ	2,900円	個	円	
③ ひやむぎ・麦作	2,600円	個	円	
④ 麺のしらべ	3,050円	個	円	
⑤ 島原のれん	2,950円	個	円	
商品合計金額	円	送料	円	総合計金額
				円

※送料は、市内・道内は5個まで1件につき550円、道外は1000円負担になりますのでご了承ください。

6個以上は5個毎に250円の追加料金がかかります。(離島・沖縄は実費送料必要です)

※全て消費税込みの金額となっております。

## 太枠内のご記入をお願いいたします

■お名前のフリガナと郵便番号・電話番号(市外局番を含む)は必ずご記入下さい。

申込者	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前	-----		
電話		FAX		
お届け先①	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前	-----		
電話		商品番号		商品名
お届け先②	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前	-----		
電話		商品番号		商品名

ご注文内容・送料・お支払方法のご確認をお願いいたします

**FAX(011)644-0088 入金後の発送となります**

## ライフ事業所一覧

◇NPOライフ本部事務局  
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

**作業** 共働事業所さばりや 就労継続支援事業A型  
TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

**生活** ころこや 生活介護事業  
TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

〒063-0812  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

---

**飲食** コン・プリオひだまり 就労継続支援事業B型  
TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

〒063-0812  
札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

---

**販売** 共働サービスたねや 就労継続支援事業B型  
TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

**介護** ヘルパーステーション繭結(ゆい) 指定居宅介護事業  
TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

〒063-0804  
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

---

**営業** アウトソーシングセンター元気ジョブ 札幌市委託事業  
TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

〒064-0808  
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

---

**印刷** 共働事業所もじや 札幌市障がい者協働事業所  
TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

〒064-0808  
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

---

**相談** 相談室らいふ 相談支援事業所  
TEL 080-6076-1474 FAX 011-596-6584

〒064-0808  
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園203

---

**飲食** Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリヤ) 就労継続支援事業A型  
TEL・FAX 011-758-6533

〒060-0808  
札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

---

**環境** リサイクルプラザ発寒工房 札幌市委託事業  
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816  
URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

〒063-0835  
札幌市西区発寒15条14丁目2-30

---

**環境** 札幌市リユースプラザ 札幌市委託事業  
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155  
URL <http://www.reuseplaza.jp>

〒004-0003  
札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

# 6月 イベントカレンダー

---

**21日** 木 たねや  
カイマチバザー出店  
札幌駅前地下歩行空間 北大通東広場  
10:00~17:00

**22日** 金

---

**23日** 土 札幌市リユースプラザ  
環境広場  
札幌ドーム  
10:00~17:00

**24日** 日

---

**30日** ライフ本部  
ライフ全体会&懇親会

---

最新の情報は、<http://www.npolife.net>  
ホームページを  
ご覧ください!

---

## 暑中見舞いハガキ

印刷受付中! (8月2日(木)まで)

デザイン料金 ¥1,500~

※そのまま印刷できるデータをご入稿の場合はかかりません。  
お客様のご要望に合わせて、全て1点ものでデザインを作成いたします。

**印刷料金(税込)**

印刷枚数	フルカラー	モノクロ
1枚~50枚	3,600円	2,900円
51枚~100枚	4,300円	3,200円
~150枚	5,100円	3,450円

※150枚以上の料金も、すぐお見積もりいたします。

上記印刷料金に加え、別途ハガキ代がかかります。

◎官製ハガキ(1枚毎)…¥62 ◎私製ハガキ(1枚毎)…¥19~

お客様によるハガキのお持込みはできません。

お問い合わせ・お申し込みは、共働事業所もじやまで!  
メールでのお申込みは ⇒ [nishida@npolife.net](mailto:nishida@npolife.net)

ご協力ありがとうございます(4月分・順不同・敬称略)

**アドボケ購読料** 山本 哲生 小野 正美 小野 菜穂子 矢野 潤 高妻 政行 藤田 綾子 鶴見 裕子  
若松 修 佐藤 靖子 花崎 皋平 菊谷 みどり 田中 美穂 渡辺 弘 太田 英和  
鍋山 若子 石川 佐和子

**寄付金** 山本 哲生 福田 敏夫 高妻 政行 鶴見 裕子 若松 修 佐藤 靖子 菊谷 みどり  
吉田 隆一 石黒 建一 (特非)ベトサダ

**賛同会員会費** 谷上 隆 佐藤 靖子 太田 英和 **協賛団体会員費** (特非)ベトサダ (特非)サムリブ

**維持会員会費** 藤川 雅司 福田 敏夫 三田 明外 大嶋 薫 斎藤 規和 (特非)あしの会

**ライフカンパのご案内** ~だれもが地域であたりまえに暮らし、働くことができる社会を作ろう~

ライフは障害の種別を超え、「働きたい」と願う人の気持ちを繋ぐために25年以上活動を続けてきました。これからも、障害のある人ない人をはじめ、社会的に不利な状況にある人たちも含めた、共に働き共に生きていく「社会的事業所」づくりをすすめていきます。ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

お振り込み先	口座番号/加入者名
北洋銀行	琴似中央支店 普通預金 4606735 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
北海道信用金庫	琴似支店 普通預金 3296744 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
ゆうちょ銀行	振替口座 02710-4-63485 NPO札幌障害者活動支援センターライフ

月替わりコラム

人生ズについて

きばりや 濱中 孝仁

人生ズは西田さん ギター、濱中 たいこ、山口さん 歌、おくいさん キーボード、ともやすさん マラカス、上神田さんドラム、おりもとさん ふえ、ケイジェイさん からから・ざざざの8人でバンドをしています。色々なライブでみんなの力をあわせて強い歌をがんばりました。

希望のカフェイヤーをしました。

タワーレコード札幌PIVOT店インスタライブ、クラブカウンターアクションレコ発売記念ライブはたくさんの方が来てくれて最高に楽しかったです。これからもよろしくおねがいします。



編集後記

記念すべきリニューアル1発目の編集後記!いや〜リニューアルするにあたって広報担当へっぽこ3人組の薄っぺらい知識と想像力で試行錯誤しながら打ち合わせするのがけっこう大変だった!でもすごく楽しかった!ライフの広報はアドボケイトだけではなく、ホームページやフェイスブックもあるのでこれからまだまだやりたいことはたくさんある!へっぽこ3人組、頑張ります!(S☆T)

**アドボケイト**  
2018年 6月号  
No.208 定価 100円

2018年6月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号555号 1973年1月13日第3種郵便物承認 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会  
編集者=我妻 武  
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323  
E-mail main\_lifemail@npolife.net ホームページ http://npolife.net/ 郵便振替口座 02710-4-63485